

令和8年度 社会福祉施設職員等海外研修・調査
実施要綱

1 目的

社会福祉施設等で働く職員等に対し諸外国における福祉の最新情報や知識について学ぶ機会を提供し、わが国の福祉サービス向上や地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

2 主催 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〔公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業〕

3 実施班及び内容

(1) 高齢者班

ア 研修・調査国 フィンランド

イ 研修・調査の内容

フィンランドの福祉事情聴取、高齢者福祉関係施設の利用者の支援状況及び高齢者のための支援技術等

(2) 障害者班

ア 研修・調査国 スウェーデン

イ 研修・調査の内容

スウェーデンの福祉事情聴取、障害児・者福祉関係施設の利用者の支援状況及び障害児・者のための支援技術等

4 実施期日

(1) 高齢者班

1日目 フィンランドの福祉事情セミナー (LIVE)

2026年 9月24日(木) 16時～18時

2日目 フィンランドの高齢者関係施設見学・質疑応答等 (LIVE)

2026年 9月29日(火) 16時～18時30分

2026年 9月30日(水) 16時～18時30分

※ 2日目の施設見学については、2グループに分けて実施する予定であること。日程については、受講者決定時に通知するものとする。

(2) 障害者班

1日目 スウェーデンの福祉事情セミナー (LIVE)

2026年10月 8日(木) 16時～18時

2日目 スウェーデンの障害者関係施設見学・質疑応答等 (LIVE)

2026年10月15日(木) 16時～18時30分

2026年10月16日(金) 16時～18時30分

※ 2日目の施設見学については、2グループに分けて実施する予定であること。日程については、受講者決定時に通知するものとする。

5 開催方式 オンラインでの実施 (Zoom)

6 受講者の条件

次の(1)～(4)の全てを満たす者とする。

(1) 次のア・イに掲げる社会福祉法人等が経営する施設・事業所等に勤務する介護職員、生活支援員、保育士、看護師等である者

ア 高齢者班

介護保険指定施設・事業所等

イ 障害者班

自立支援給付指定施設・事業所等

- (2) (1) の施設・事業所等における介護・支援業務の経験が通算して 3 年以上で、かつ、本研修受講後も引き続き当該施設・事業所等に勤務する意志を有する者
- (3) 応募動機や学びたい理由が明確で、所属長からの推薦がある者
- (4) Zoom ミーティングを利用したオンライン研修が受けられる者

7 受講定員 各班 100 名

8 研修の応募について

都道府県・政令指定都市・中核市等の推薦が必要である。「受講申込書」により、各自治体経由で応募すること。

9 受講者の選考

受講希望者が定員を超えた場合は、受講者の条件を満たす者のうち、次の選考基準により受講者を選考する。

【選考基準】

- (1) 都道府県・政令指定都市・中核市等の推薦者のうち各 1 名
(ただし、推薦のあった都道府県・政令指定都市・中核市等の優先順位 1 位の推薦者の合計が定員を超える場合は、(3) 以降の基準で選考する)
- (2) 都道府県・政令指定都市・中核市等の推薦者のうち優先順位 2 位の者
(優先順位 2 位の推薦者の合計が定員を超える場合は、(3) 以降の基準で選考する。
以下、優先順位 3 位以下の者の場合も同様に選考する)
- (3) 本研修に参加履歴のない施設・事業所等に勤務する者
- (4) 直近 5 年間に於いて本研修への参加がない者
- (5) 介護・支援業務の経験年数の長い者

10 受講費用 3,000 円

11 レポートの提出

受講者は研修終了後、当センターが指定する期日までに所定のレポートを提出するものとする。なお、提出されたレポートは報告書としてまとめ、関係機関等に配付する。

12 その他

- ・ 受講者は、研修の成果について、所属施設並びに地域等において幅広く伝えるように努め、福祉サービス及び地域福祉活動の向上に寄与するものとする。
- ・ 原則、研修の全日程を受講すること。
- ・ 提出された書類は一切返却しないものとする。
- ・ オンライン研修を受講できる環境整備（受講場所やパソコンの用意、通信環境の整備）は受講者本人または受講者の所属する事業所等で準備するものとする。
- ・ 研修の内容を録画し、アーカイブ動画を復習用として配信予定であること。なお、研修実施に関する目的で行うものであり、本目的以外で使用しないものとする。

オンライン研修受講にあたっての注意事項

1. 受講者に必要な利用設備環境

オンライン研修受講にあたっては、下記の環境の用意が必要です。

●使用機材等

① 機材: **パソコン**

カメラ機能・マイク機能・通信機能があるもの

(映像/音声~~が~~明瞭に送受信できるもの)

※ タブレット及びスマートフォンでのご参加は推奨いたしません。

やむを得ず使用する場合はグループワークを実施するため大きい画面のものを推奨します。
システム要件は Zoom のホームページをご確認ください。(URL:Zoom.com/)

② アプリケーション: **Zoom** ミーティング/ Zoom ウェビナー

事前にアプリケーションをダウンロードの上、接続確認を行ってください。

※ Zoom のホームページで事前接続確認ができます。

2. 注意事項

① 周囲の音を拾わないようできるだけ静かな環境でご参加ください。

② インターネット回線の通信費については、ご参加者様の負担となります。

③ ご自身のパソコン等機器やインターネット回線の不具合等により、ご参加いただけなかった場合は、責任を負いかねます。事前に受講環境をご確認の上、ご参加ください。

④ 研修内容の撮影・録画・録音・画面のスクリーンショット、および研修資料の二次利用は固くお断りいたします。

⑤ 研修の内容を当センターで録画をさせていただく予定です。録画内容は、研修実施に関する目的以外での利用はいたしません。あらかじめご了承ください。

2026年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『世界一幸せな国』フィンランドの高齢者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント

フィンランド在住歴32年、高齢者福祉と教育の現場で長年視察プログラムや交流アシスタントを担当してきたコーディネーター、**ヒルトウネン久美子**さんが講師を務めます。画像や動画を用いたレクチャーや福祉施設の現場で働くスタッフのインタビューを通して、「世界幸福度ランキング」8年連続1位を誇る北欧の小国、**フィンランドの高齢者福祉の現状と課題を詳しく解説**します。

- 1 久美子さんの人生観を変えた重度認知症高齢者施設「ヴィッラ・タピオラ」。最期まで自分らしく生きる施設での取り組みをご紹介します。
My介護士制度 自己決定権 日頃のアクティビティ
- 2 昨年、大手企業の傘下に入った「ヴィッラ・タピオラ」。その変化の中で、何が新しくなり、何が変わらずに守られているのかー現場スタッフの声を通して、現在地を探ります。
- 3 入居者の日常を垣間見る写真、ビデオを多数ご用意。(個人情報に厳しい北欧諸国において、入居者が写る資料は大変貴重です。)
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場スタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

ヒルトウネン久美子氏

オンライン研修の
経験も豊富！



フィンランド在住歴32年。全日空、フィンランド航空客室乗務員を経てフィンランドに移住。
2003年にKH Japan Management Oy(KHジャパンマネージメント株式会社)を設立、代表を務める。

教育、保育、福祉分野を専門とし、通訳、視察・プロジェクトのコーディネート業務を担当。

担当件数は年間約30件、これまで7,000人に及ぶ日本の方々にフィンランドを紹介してきた。本物のフィンランドを日本に紹介し、日本の未来構築に貢献することをミッションとしている。

【見学施設】

Attendo Villa Tapiora
＜アッテンドウ ヴィッラ タピオラ＞

高齢者が最期まで自分らしく生きることができる重度認知症高齢者施設。そのサービスの質は高く評価されており、2021年には国連の高齢者人権調査団が視察に訪れた。首都ヘルシンキに隣接するエスポー市にある。2025年3月、北欧諸国で大々的に福祉事業を展開するAttendo社の傘下に入った。



1日目：講義

日時：2026年9月24日(木)
日本時間 16:00～18:00

- フィンランド高齢者福祉の概要
北欧の小国が高福祉国家となり得た背景には貧しい国の歴史と自然環境が大きく影響しています。文化的背景をふまえ、解説します。
- 福祉サービスについて
- 2日目の高齢者施設の概要説明
- 質疑応答

2日目：高齢者施設見学

日時：2026年9月29日(火)／9月30日(水)
日本時間 16:00～18:30

- ※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。
- ※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

- 「ヴィッラ・タピオラ」で実践している取り組み事前に録画したビデオをご覧いただけます。現場から学ぶ成功例、「本当に必要なサービスとは？」My介護士制度、自己決定権、入居者の日々の様子などをご説明します。
- 大手企業の傘下に入った「ヴィッラ・タピオラ」の“現在地”とは？
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します



【SAMPLE】※ 受講希望者には、社会福祉振興・試験センターのHPに掲載の「受講申込書」をダウンロードいただき、ご入力の上、Excel様式（PDF等不可）でご提出いただきます。

令和8年度 社会福祉施設職員等海外研修・調査
【障害者班】 受講申込書

「※」以外は、すべて必要な項目です。入力漏れがないことをお確かめください。

1. 受講希望者		入力日 (西暦)	年	月	日
ふりがな 氏名	(姓)	(名)	年齢 (4/1現在)		
職種	(例：介護職員、生活支援員)		※ 役職名 (例：管理者、課長、主任)		
介護・支援 業務経験年数 (4/1現在)	年	ヵ月	現在の施設での経験年数 (4/1現在)	年	ヵ月
※ 保有する資格 (該当する資格に「○」)	介護福祉士		社会福祉士		精神保健福祉士
	介護支援専門員				
応募に関する 設問 (申込者本人がご 入力ください)	(1) 応募動機や研修で学びたいことを具体的にご入力ください。				
	(2) この研修をどのようにして知りましたか。				

2. 受講希望者の所属施設・事業所等

ふりがな 法人名 (法人格も入力して ください。)	記入例：しゃかいふくしほうじん〇〇かい			
ふりがな	記入例：社会福祉法人〇〇会			
施設・事業所の種類及び 施設・事業所名	記入例：とくべつようごろうじんほーむ〇〇えん			
郵便番号	〒			
ふりがな				
所在地				
施設・事業所 担当者連絡先	ふりがな	電話番号		
	氏名	メールアドレス		
上記1の受講希望者の受講申込を了承します。		所属長氏名：	所属長役職：	
(注)この申込書に記載の個人情報は、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが行う事業目的達成のために使用するものであり、法令に定める場合を除き、他の目的への利用及び第三者に提供することはありません。				

(試験センター入力欄)				優先順位	
推薦団体	推薦団体No.	確認欄	受講者No.		